

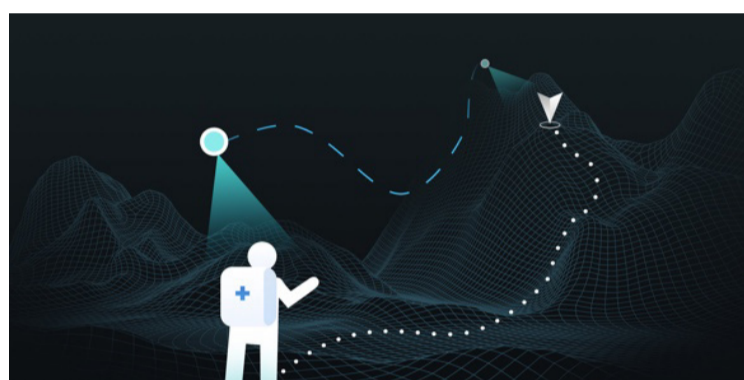
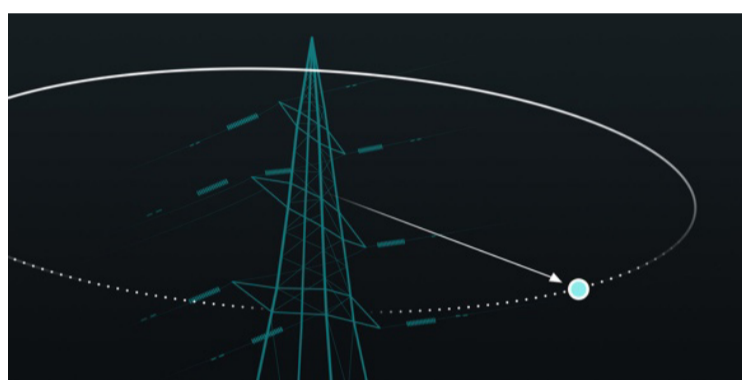
DJI MATRICE 200 シリーズ

17インチプロペラと高性能モーターの組み合わせにより、強風時でも安定した飛行が可能となり、新しいデュアルバッテリー・パワーシステムの採用により、氷点下での飛行中も自動でバッテリーを温めることにより、安全に飛行を行う事が可能となりました。さらに、密閉型の防滴設計で悪天候にも強く、さまざまな環境下で飛行を行う事が出来ます。



障害物回避

FlightAutonomy(フライトオートノミー)システムの前部、上部、下部に設置されたセンサーが、障害物を検知し回避して、飛行するので安心してフライトを行えます。



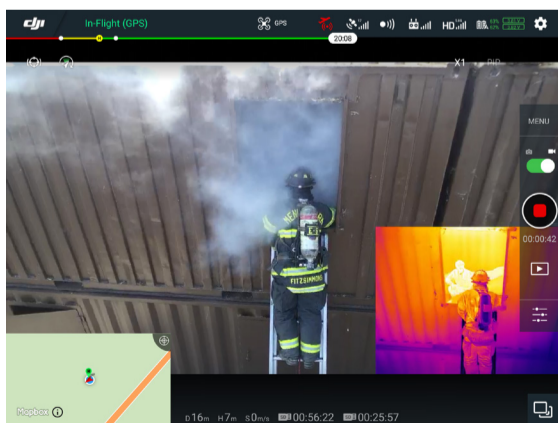
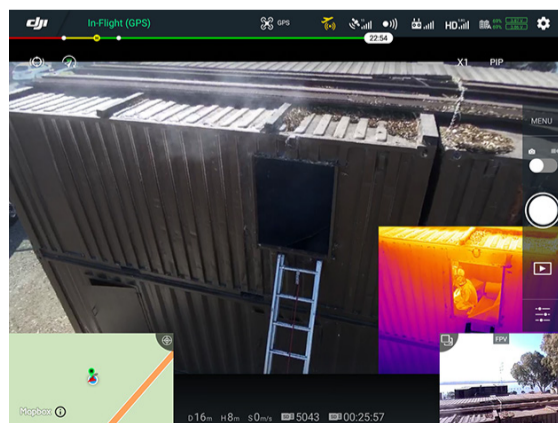
点検・検査

強化された信頼性と精密性で、送電線ネットワークを可視化できます。悪条件下でもいままでにない詳細な情報を入手できます。また、光学ズームカメラや赤外線カメラの使用により、検査員が上ることなくタービンプロペラのすべての箇所を点検し、損傷を見つけることができます。また、機体の頭頂部にジンバルを取り付けることで、橋梁の裏側の点検を行う事が可能となり、公共の安全を確保し、コストを最小に抑えながらメンテナンススケジュールを適切に計画できます。



搜索救援活動

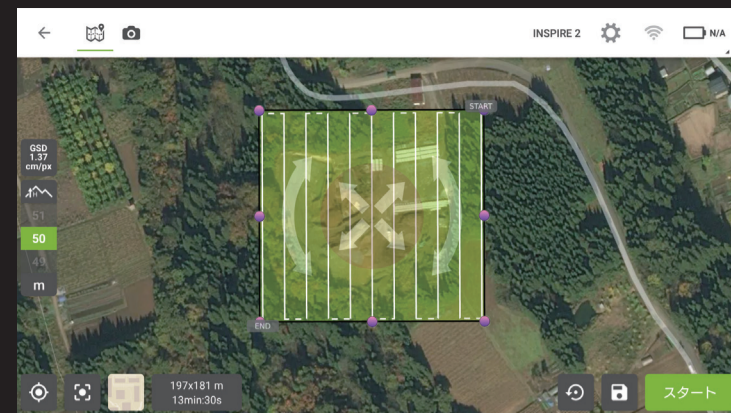
ズームカメラとサーモカメラが搭載されているため、離れた場所から迅速に行方不明者を発見し、最も安全な救助経路を計画できます。



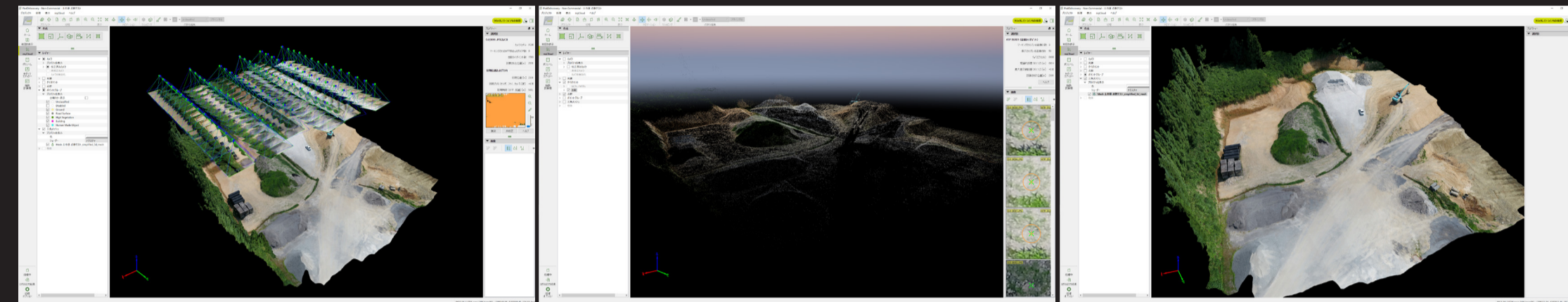
三井住友海上火災保険(株)代理店 **有限会社くらさわ・保険サービス**
本社：新潟県長岡市大島新町3丁目甲1267-1 ホウセイ建設ビル2F
TEL:0258-86-7232 FAX:0258-86-7256

3次元モデル（写真測量・点群データ・オルソ画像）

点群データとは「ドローンで撮影した画像を元に取り得した、XYZ軸の情報を持った点の群れ」のことで、ドローンが気圧計などから取得する高度情報と、GPSやGLONASSの人工衛星から取得する位置情報を光学カメラやレーザー測距装置で捉えたデータと組み合わせることで、位置情報をもつ「点の群れ」がデータとしてできあがります。このデータを専用ソフトで加工することで、地点Aから特定の地点Bまでの距離の計測や盛土の体積算出、3Dモデル作成、図面作成、出来形管理などが行えます。



自動飛行ルートを設定し撮影する



撮影したデータを合成処理を行う

座標データをもった点群データ

三角メッシュによる3Dモデル

DJI Zenmuse Z30（光学ズームカメラ）

30倍光学ズームと6倍デジタルズームを搭載した、総合倍率最大180倍のパワフルな一体型空撮ズームカメラで、鉄塔、携帯電話基地局、風力タービン等の構造やワイヤー、モジュール、部品等を詳しく観察し、損傷や損害等の検知を行う事ができ、調査対象に近接して飛行することなく、遠く離れた場所からでも調査を実施できるため、調査のスピードや効率性が向上し、衝突のリスクも未然に防げます。



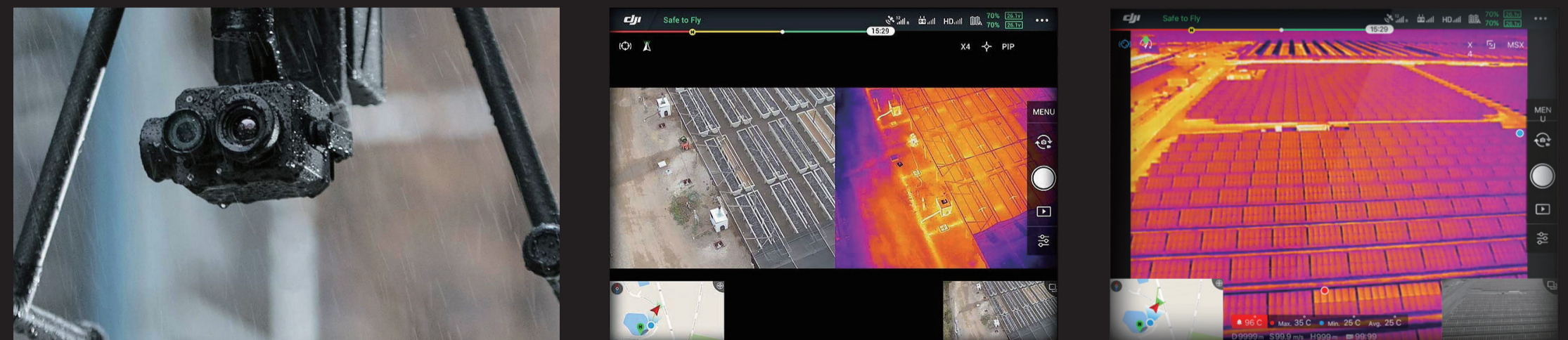
約2km先の自社プラントを撮影

光学30倍での撮影

デジタルズーム180倍での撮影

DJI Zenmuse XT2（赤外線カメラ）

FLIR Tau 2サーマルセンサーと4Kカメラを搭載した、次世代の業務用サーマルソリューション。DJIの最先端のスタビライザー技術およびマシンインテリジェンス技術に、デュアルセンサーを搭載することにより、XT2は空撮データをスピーディに実践的なインサイト（解析データ）に変換し、時間と予算を抑えるだけでなく、人命救助へも活用できます。



防水使用の赤外線カメラと撮影カメラを搭載

撮影画像と赤外線画像のデュアル表示

温度変化による異常個所の確認